

わかつてもらいたい 発達障害のこと

「本人、支援者から① ちょっと見方を変える」と

今シリーズ開始にあたって（4回シリーズ）

発達障害について、従来の医学的モデルによる考え方ではなく、何が生活の障壁になっているのか、何が本人にとって不安や恐れや怒りになるのかという考え方も必要です。（げんき）でも、本人の立場に立った支援を心がけています。

このシリーズでは、本人の立場から社会での生活をとらえ、安心して生活していくための支援のあり方について考えていきたいと思います。（げんき）スタッフによる座談会から再構成しました。困った行動にみえても、当人には必ずそうする理由があります。周囲が「これもありかな」と受け入れることで、みんながより生きやすい社会になつていいくはずです。

「どんなことが「障害」になつていますか？」

Aさん（本人） 「障害者」というくくりでしかみてもらえないことです。たしかに、制度では「障害者」かもしれません、「障害者は、障害者が・・・」と何度も言われると・・・。

T（支援者） 行動が変だと思われて、あやしい人、危ない人と思われてしまふことも。一電車での行動が気になるときがあるのです

Aさん 先頭車両の運転席の見える位置が好

き。決まった場所、決まった行動でないとすごく不安です。なので、人をかき分けて一生懸命その場所までいきます。

Bさん（本人） アナウンスだけでなく駅場内の音全部が入つてくるので、ヘッドホンが外せなかつたり、耳をふさいでいます。そのほかにも自分で落ち着くために、体をゆすったり、独りごとを言つたりしてしまうのです。

S 注意喚起のアナウンスでも、多くの音の中から必要な情報だけを選びとるのが難しい人たちがいます。感覚の過敏さを持っている人にも大変つらいようです。

「なるほど。そういう理由があつたんですね。」

Cさん（母親） 電車のなかで、子どもがいつもと同じ座席に座れないで騒ぎ、周りの迷惑そうな視線が気になつていたとき、子どもに「ここが好きなんだよね」と声をかけてくれた人がいました。子どももそれで落ち着き、車内全体が「そうだったんだ」と、ほっとした空気になつたことがあります。そういう一言がとてもありがたいです。

S 発達障害は見た目でわかりにくくと言われます、が、わがままではなく、その行動には必ず理由があるのです。しかし、「社会常識がない」「しつけがなつていらない」と切り捨てられ、追いつめられていくのだと思ひます。

T 度か似た場面に遭遇するうち、この人はこれが好きなんだ、これがつらいんだと思えるようになる。接することで理解してもらえるようになることも多いと思いますし、周りの態度も変わっていくのだと思ひます。

世田谷区発達障害相談・療育センター

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前9時～午後6時

利用方法

利用は予約制です。利用を希望される方は、直接『世田谷区発達障害相談・療育センター“げんき”』へお電話にてお申し込みください。

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階
TEL 03-5727-2235（代表）
03-5727-2236（相談専用）
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

アクセス



「成育医療センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

- 東急バス・小田急バス 渋24 成城学園前駅南口 ←→ 渋谷駅
- 東急バス 都立01 等12 用06 成城学園前駅 ←→ 都立大学駅北口
成城学園前駅 ←→ 等々力操車場
成城学園前駅 ←→ 用賀駅
- 小田急バス 渋26 調布駅南口 ←→ 渋谷駅
- 東急コーチ 玉31-32 二子玉川駅 ←→ 成育医療センター前

*駐車場はありません。

業務受託

社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL <http://www.kisenfukushi.com>

センターよりのお知らせ

6月30日（土）

施設開放オープンディ（げんき）

9月29日（土）

発達障害理解のための講演会（成城ホール）

詳細については、区報またはHPをご覧下さい